

子どもの「自ら考える力」を育成！

6月府議会一般質問では、子どもの学力の課題について質問しました。「ゆとり教育」が学力低下をもたらしたとして、国は「脱ゆとり教育」に方針転換しました。確かに、学力は低下させてはならず向上させなければなりません。が、「脱ゆとり」がやみくもな競争をあおり、詰めこみ教育へ逆戻りすることも危惧されます。「ゆとり教育」を全否定するのではなく、成果と課題を検証し、成果はしっかりと受け継ぎ、子どもに「自ら考える力」をはぐくむ教育環境を確立する取り組みを進めています。



◆熊本地震の被災地を視察（11月）

待ったなし！の防災対策

6月から「暮らしの安心・安全対策特別委員会」委員長に就任し、「環境・建設交通常任委員会」でも委員を務めています。どちらの委員会も防災対策を担当します。11月には熊本地震の被災地を視察し、半年経っても倒壊した危険家屋の一部が除却されていません。関西地方でも近い将来、大地震の発生が予想されています。北区は古い木造建築が多く、広範な家屋倒壊と火災が懸念されます。また、台風による風水害は府内で毎年のように発生しています。防災対策はまさに「待ったなし」。私は府職員時代に鴨川・天神川等の河川防災対策に取り組んできました。そうした経験も生かしながら、防災マップの策定、耐震診断の普及など、防災対策を強かに推し進めています。

コミュニティラジオとまちづくりがコラボ！

私の地元の築只学区では、まちづくりの一環として公営住宅の空き店舗スペースを活用した「1000KITTA」（センキタ）フェスタを開催し、私も地域の皆さんとともに企画にたずさわっています。2016年は、北区制60周年事業で開設されたコミュニティラジオ「Radio Mix FM87.0J」と私たちのまちづ



くりとのコラボを企画、「1000KITTA」にサテライトスタジオを設けました。11月には、若者たちが司会進行するラジオ番組に出演し、各学区でまちづくりに取り組む方たちとトークセッションしました。

平井としき 議会報告

豊かな人間関係がいきづく
京都のために…

障がい者の就労支援を強化！

12月議会代表質問では、障がい者就労支援の課題を指摘しました。府立城陽支援学校で職業学科を開設、流通・サービス業やビルメンテナンス課程を設置し、社会に即応した人材育成に成果をあげていますが、雇用する企業と働く障がい者のミスマッチも少なくありません。定着率の向上と合わせ、ベストマッチをめざす取り組みを強化します。

高齢者の健康づくりを推進！

12月議会代表質問では、高齢者の健康づくりに欠かせない口腔ケアについても質問しました。2012年議員提案で「京都府歯と口の健康づくり推進条例」が制定され基本計画が策定されましたが、府民検診で定期的には歯科検診を受けているのは44.3%にとどまっています。この課題に取り組むほか、高齢者の健康増進につながる事業を推進します。



上◆舞鶴の乳児保育所を視察（10月）

右◆祇園祭神幸祭で山田啓二知事、門川大作市長と（7月）



平井としき事務所では皆様のお越しをお待ちしています。



公選法より新年のご挨拶・選挙のお礼は禁止されています。ご理解をお願い申し上げます。